

10月7日（水）8日（木）

1年生福祉体験学習

1年生が総合的な学習として、福祉体験学習を行いました。内容は「手話体験」と「車いす体験」です。7日に1Aと1Cが、8日に1Bが実施しました。



手話体験では、基本的な手話を教わって、それを使って実際に自分で表現することに挑戦しました。1Aでは日常的に手話を取り入れて学校生活を送っているので、実際に自分のことを手話で表現できることに、講師の先生方がびっくり！喜んで手話に取り組む中学生の姿に感動していました。他のクラスにも、手話に

挑戦したことがある生徒がいて、堂々と手を動かしていました。

大切なのは表情です。私たちが言葉を発するときには、口調や声の大きさを感情を表すことができますが、手話ではそれができません。感情を伝えるのは表情しかないのです。手話をやられる方たちは、表情が豊かです。言葉を発するときにも、表情の豊かさを活かしたいものです。

車いす体験では、車いすに乗る生徒、それを押す生徒に分かれて、実際に走行してみました。段差があるところやカーブの通過の仕方に気を配るという、やってみないとわからないことを学びました。自力走行にも挑戦し、車いすの操作の難しさや大変さも味わいました。

今回の体験のために、瑞浪市社会福祉協議会の皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

